

## 議案第 4 7 号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和 7 年 8 月 2 7 日提出

阪南市長 上 甲 誠

## 提案理由

特別職の職員の給与を減額するための措置

## 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員の給与に関する条例（昭和４７年阪南町条例第３０号）の一部を次のように改正する。

附則に次の１項を加える。

２２ 第３条第１号の規定の適用については、令和７年１０月１日から令和１０年１１月１１日までの間においては、同号中「８５０，０００円」とあるのは「７６５，０００円」とする。ただし、退職手当の額を算出する場合においては、この限りでない。

### 附 則

この条例は、令和７年１０月１日から施行する。

特別職の職員の給与に関する条例新旧対照表

改 正 後	改 正 前
<p>附 則</p> <p>1 ～ 2 1 略</p> <p><u>2 2 第 3 条第 1 号の規定の適用について</u></p> <p><u>は、令和 7 年 1 0 月 1 日から令和 1 0 年 1</u></p> <p><u>1 月 1 1 日までの間においては、同号中「8</u></p> <p><u>5 0, 0 0 0 円」とあるのは「7 6 5, 0</u></p> <p><u>0 0 円」とする。ただし、退職手当の額を</u></p> <p><u>算出する場合においては、この限りでない。</u></p>	<p>附 則</p> <p>1 ～ 2 1 略</p>